

製品名: Tyk 2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab19465**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	人間、ネズミ、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	134kDa

抗原情報

遺伝子名	TYK2
別名	TYK2; Non-receptor tyrosine-protein kinase TYK2
遺伝子 ID	7297.0
SwissProt ID	P29597
免疫原	抗血清はヒト TYK2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1020-1069

背景

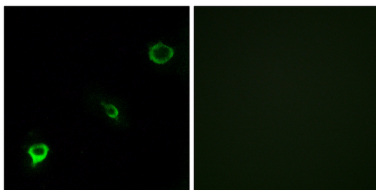
チロシンキナーゼ 2 (TYK2) ホモサピエンス この遺伝子はチロシンキナーゼ、より具体的にはヤヌスキナーゼ (JAK) タンパク質ファミリーのメンバーをコードしています。このタンパク質は I 型および II 型サイトカイン受容体の細胞質ドメインに結合し、受容体

サブユニットをリン酸化することでサイトカインシグナルを伝達します。また、I型およびIII型インターフェロンシグナル伝達経路の両方の構成要素でもあります。そのため、抗ウイルス免疫において役割を果たしている可能性があります。この遺伝子の変異は、血清中の免疫グロブリンE値の上昇を特徴とする原発性免疫不全症である高免疫グロブリンE症候群 (HIES) と関連している。[RefSeq提供、2008年7月]、触媒活性: ATP + a [タンパク質]-L-チロシン = ADP + a [タンパク質]-L-チロシンリン酸。、疾患: TYK2の欠陥は、タンパク質チロシンキナーゼ2欠損症 (TYK2欠損症) [MIM: 611521]の原因である。非定型抗酸菌症を伴う常染色体劣性高IgE症候群 (HIES) とも呼ばれる。この症候群は、再発性皮膚膿瘍、肺炎、および血清IgE値の高値を伴う原発性免疫不全症です。、ドメイン: FERMドメインはJAKMIP1との相互作用を媒介します。、機能: I型インターフェロンシグナル伝達の開始に関与することで、細胞内シグナル伝達に関与していると考えられます。インターフェロン α/β 受容体 α 鎖をリン酸化します。、オンライン情報: TYK2変異データベース、類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。チロシンキナーゼファミリー。JAKサブファミリー。、類似性: 1つのFERMドメインを含みます。、類似性: 1つのタンパク質キナーゼドメインを含みます。、類似性: 1つのSH2ドメインを含みます。、サブユニット: JAKMIP1と相互作用します。、組織特異性: 解析したすべての細胞株で観察されます。様々なリンパ系および非リンパ系細胞株で発現します。、

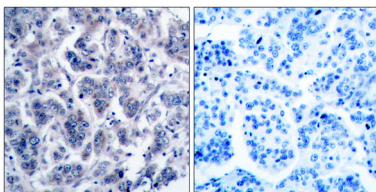
研究分野

ジャク_STAT;

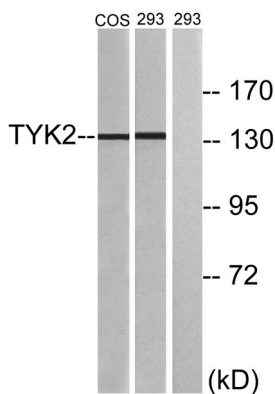
画像データ



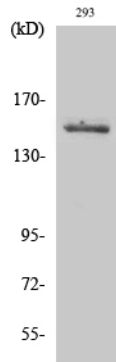
TYK2抗体を用いたCOS7細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



TYK2抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



TYK2抗体を用いた、熱ショック処理した293細胞およびCOS7細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



Tyk 2 ポリクローナル抗体を 1: 2000 に希釈し、様々な細胞をウェスタンブロット分析した。二次抗体は 1: 20000 に希釈した。